

2019年11月吉日

株式会社BONX

日本発のスタートアップが、ビジネスシーンや日常生活の音声コミュニケーションをアップデート

『BONX mini』をクラウドファンディングにて予約販売開始

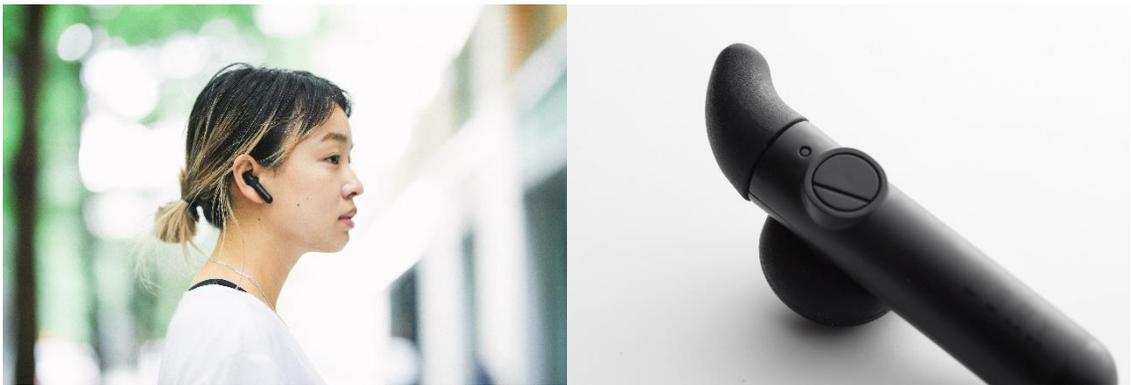
打ち合わせ回数の減少やテレワークを推進し、働き方にイノベーションを

音声コミュニケーションプラットフォームを展開する株式会社BONX（本社：東京都世田谷区、代表取締役CEO：宮坂貴大、以下BONX）は、新たなコミュニケーションデバイス『BONX mini』の予約販売を、2019年11月19日（火）よりクラウドファンディングプラットフォーム「GREEN FUNDING」にて開始いたします。

『BONX mini』は、2015年のクラウドファンディングで当時の日本のIoT製品史上最高額を記録した『BONX Grip』をさらに小型化・軽量化し、価格面においても低価格化を実現させたモデルで、ビジネス・プライベート問わず、さらに多くの方にお使いいただける仕様になっております。

尚「GREEN FUNDING」では、クラウドファンディング支援者向けに6,980円～（最大30%割引）の早期支援割引をご用意しております。

キャンペーンページURL：<https://greenfunding.jp/lab/projects/3072>



BONXはこれまで、スマートホンと接続するだけで最大10人までと同時通話ができる音声コミュニケーションデバイス『BONX Grip』の販売を通して、雪山をはじめとするエクストリームシーンや、商業施設や医療介護などの業務現場において、従来のトランシーバーやインカムなどに代わる全く新しい音声グループコミュニケーション体験を提供して参りました。

その中で、音声グループコミュニケーションへのニーズは、エクストリームシーンや業務現場に限らず、業務効率化が求められている全てのビジネスシーンや日常生活の様々なシーンにもあると考え、新デバイス『BONX mini』を発売するに至りました。

「働き方改革関連法」の施行を受け、ビジネスパーソンを対象に実施した調査結果※では、約4割ものビジネスパーソンが旧態依然とした「会議」のあり方に疑問を感じていることが明らかになっています。

また彼らのライフスタイル自体も多様化しており、約3割の方が“仕事”と“プライベート”に境目を持たない生活を送っている『シームレス族』であることが判明しました。

※株式会社BONX 働き方に関する意識調査（2019）n=600

そのような時代の変わり目の中で、遊びの体験を進化させるだけでなく、打ち合わせ回数の減少やテレワークの推進にも寄与する『BONX mini』の発売により、「会議」のあり方をアップデートすると共に、遊びと仕事の境目を超越するシームレスな生き方の実現を後押しし、ライフスタイルにイノベーションを起こしていきます。

主な製品特徴

特徴1：雪山生まれの革新的な通話テクノロジーが小型化。シティーユースにも。

『BONX mini』は、『BONX Grip』の基本的機能はそのままに大幅サイズダウン。『BONX Grip』同様、専用アプリによって最大10人まで同時相互通話が可能です（有料アプリを使用すれば、最大30人まで可能）。新しいコミュニケーションをより身近に体験することができるようになりました。

またインターネット通信のため、通信距離の制限無く、不安定な電波環境でも接続を維持することができます。

さらにボタンを押す必要もなく、話すだけで通話を開始できるため、隣にいるような感覚で仲間との会話を楽しむことができます。ボタンを押して話すプッシュトークモードも利用可能です。



特徴2：会話の録音・テキスト化機能の追加でビジネスにも。

また『BONX mini』では、ビジネスシーンの課題を解決する様々な音声サービスを付加させていく予定です。

例えば、デバイスを通して行った会話を録音・テキスト化することも可能になります（*1）。

これによって、従来の会議では必要だった録音データやメモをベースにしたゼロからの議事録作成が不要になり、業務効率を大幅に改善することが可能になります。

*1:一部機能の利用には有料版アプリへの登録が必要になります



特徴3：シームレスなライフスタイルに適応するミニマルなデザイン

幅広いスタイルにマッチするミニマルなデザインが特徴の『BONX mini』は、スポーツシーンや、カジュアルシーンなど、様々なシーンにマッチします。また、「働き方改革」の施行に伴い、業務改善が求められている全てのビジネスシーンでも違和感なく使えるデザインになっています。

更に約15gあった『BONX Grip』に比べ、『BONX mini』は僅か5gしかなく超軽量。独自の装着システムで外れづらく長時間着用も快適です。



その他の機能

- ・「人の声の聞き取りやすさ」にフォーカスした独自の音響設計のため、雑踏の中でも声が聞き取りやすい。
- ・ノイズフィルターも実装。
- ・周囲の音がしっかりと聞こえる開放型イヤフォンを採用。移動中での利用も安全。
- ・充電ケースとセットで最大約18時間の使用が可能。
- ・BONXアプリでの通話以外にも、通常の電話での使用も可能。ワンタッチで着信を取れる。
- ・Podcastやラジオを聴くのにも最適。もちろん音楽対応も可能。

クラウドファンディング概要

- ・ URL : <https://greenfunding.jp/lab/projects/3072>
- ・ 実施期間 : 2019年11月19日～2020年1月29日
- ・ 目標金額 : 1,000,000円
- ・ お届け予定 : 2020年2～3月予定
- ・ 主催 : 株式会社BONX
- ・ 企画協力 : GREEN FUNDING

BONX mini 商品仕様

重さ :	イヤフォン本体 : 約5g、充電ケース : 約30g
サイズ :	イヤフォン本体 : 縦×横×厚み = 約50 × 約17 × 約17mm (本体径約φ9mm)
	充電ケース : 縦×横×厚み = 約100 × 約28 × 約21mm
連続通話時間 :	イヤフォン本体 : 最大約3.5時間 充電ケース使用時 : 合計最大約18時間
待機時間 :	最大約80時間
充電方式/時間 :	イヤフォン本体 : 充電ケースに入れて約1時間 充電ケース : microUSBケーブルをつなげて約2時間 (イヤフォン本体も同時に充電)
バッテリー方式 :	リチウムイオンポリマー電池 (イヤホン本体・充電ケース)
防水性能	なし
Bluetooth :	Dualmode Bluetooth 4.2 (Classic Bluetooth and Bluetooth Low Energy)
ペアリング済みスマホとの通信距離 :	最大約10m(Class 2)
対応端末 :	iOS端末とAndroid端末 (非推奨端末もございますので、詳細はウェブサイトでご確認ください)
同梱物 :	充電ケース、microUSBケーブル、製品マニュアル兼保証書
製品保証期間 :	ご購入より1年間 (消耗品は除く)

株式会社BONXについて

2014年、日本のスノーボーダーで起業家の宮坂貴大が創業。「スノーボード中に仲間と会話したい」という思いからBONX Gripを着想し、ビジョンに共感したエキスパートたちを集めてチームを結成。その後、約1年間の開発期間を経て実施したクラウドファンディングで、当時日本のIoTスタートアップとしては最高額となる2,500万円強を達成し、スポーツやアウトドアの領域から一般販売を開始した。2017年夏には北米にもサービスを展開し、同年12月には法人向けサービスBONX for BUSINESSを国内でスタートさせた。また、世界最大の起業家支援ネットワークEndeavorより、2019年上半期の第85回エンデバーISP (最終国際選考会) にて日本起業家としては7社目となるエンデバー・アントレプレナーとして選出された。

■会社概要

社名 :	株式会社BONX (BONX INC.)
代表 :	宮坂貴大
設立 :	2014年11月
本社所在地 :	東京都世田谷区駒沢4丁目18-20